

平成 14 年度常設展

岡本太郎の手

会 期 2002 年 10 月 10 日～2003 年 4 月 13 日
 開催日数 152 日
 観 覧 料 一般 500 円、高大学生 300 円、中学生以下・65 歳以上無料
 出品点数 絵画、彫刻、家具、テキスタイルデザイン他約 100 点
 担 当 者 佐藤玲子



《動物》1959 年 コンクリート

[開催趣旨]

今回の常設展では、筆の運びがよく残った絵画や手の丸みが印象的な彫刻の原型など、岡本太郎の手の動きが分かるような作品を中心に構成した。

1961 年、二科会を脱退した岡本はその数ヶ月後の個展で筆の運びがくっきりと残るカリグラフィックな絵画を発表する。色彩の激しいコントラストと具象的に描かれるモチーフを中心とするそれまでの画面から、60 年代に入り、その背後にある色の流れと勢いが主役となって立ち現われてきたのである。岡本の絵画は大きく空間を切り裂く手の跡、その生動によって形成されているとも言えよう。

また一方、1959 年に制作した《動物》をきっかけに本格的に取り組みはじめた彫刻は、手の丸みが残ったような有機的でやわらかい曲線の特徴的としており、作品に残された手の痕跡は岡本の息づかいと昂揚感を伝えてくれる。

[出展作品リスト]

※会期中一部展示替え。○印の作品は 2002.10.10～2003.1.13、●印の作品は 2003.1.13～4.13

— 岡本太郎 —

■ 油彩

作品名	制作年	作品番号
美女と野獣	1949	1O00008
海辺	1954	1O00018
○森の掟	1950	1O00012
●クリマ	1951	1O00013
樹人	1951	1O00022
夜	1947	1O00004
まひるの顔	1948	1O00006
○アドレッサン	1961	1O00032
●呼ぶ	1964	1O00057

○失われた記憶	1963	1O00044
●まひるの生物	1962	1O00037
若い闘争	1962	1O00038
○跳ぶ	1963	1O00054
●飛ぶ眼	1961	1O00034
愛撫	1964	1O00059
○具現	1961	1O00036
●歓喜	1963	1O00046
顔3	1968	1O00121
○流れる夢	1975	1O00084
●休日	1963	1O00049
マスク	1959	1O00028

■ドローイング

夜	1947	1D00001
美女と野獣	1949	1D00005
森の掟	1950	1D00017
森の掟	1950	1D00018
森の掟	1950	1D00021
若い時計台	1966	1D00588
顔	1976	1D00654
横光利一デスマスク		個人蔵

■版画

石と樹	1977	1P00031
眼と眼	1977	1P00032
風神	1977	1P00033
花	1983	1P00039

■レリーフ

子供の時間	1975	2L00015
-------	------	---------

■彫刻

犬の植木鉢	1963	2S00091
動物	1956	2S00008
河童神像	1981	2S00057
若い時計台	1966	2S00019
月の顔	1981	2S00051
湧き上がる	1989	2S00071
愛	1961	2S00010
エラン	1976	2S00046
誇り	1962	2S00013
手ー赤	1981	2S00054
手ー青	1981	2S00055

■陶器

スモーキングセット	1952	2 00047
歩み	1967	2 00002

■インダストリアルデザイン

原色卓	1967	2I00005
ひもの椅子	1967	2I00003
まどろみ	1967	2I00008
ほおづえ	1968	2I00009
手の椅子(3点)	1967	2I00091-2I00093
駄々っ子	1969	2I00012
花びらの椅子	1970	2I00014
ティーテーブル 遊び	1967	2I00007
坐ることを拒否する椅子	1963	2I00072-2I00077
人間ボトル	1985	2I00067
火の接吻	1970	2I00011
水差し男爵	1977	2I00017
顔の時計	1967	2I00001
光る時計	1967	2I00002
花びら	1968	2I00012
まつげ	1978	2I00020
手の灰皿	1979	2I00018

■石膏原型

河童像	1981 頃	個人蔵
月の顔	1981 頃	個人蔵
誇り	1962 頃	個人蔵
動物	1956 頃	個人蔵
母の塔	1970 頃	個人蔵
モニュメント原型	不詳	個人蔵

ー岡本一平・岡本かの子ー

作品名	作家名	制作年	作品番号
	岡本一平	不詳	
夫婦八態	岡本一平	不詳	
親子目録	岡本一平	不詳	
	岡本かの子	不詳	